

地質研究サミットシリーズ

「ジオハザードと都市地質学」

主催：日本地質学会関東支部

後援：世田谷区・世田谷区教育委員会・関東地質調査業協会

日時：2015年11月23日（祝）

10:00~17:30

場所：日本大学文理学部オーバルホール

入場無料（要旨集別途1,000円程度）

PROGRAM

総合司会：小森次郎（帝京平成大学）

関東地方の沖積平野の成り立ち

（遠藤邦彦：日本大学名誉教授）

赤色立体地図で見る関東地方の地形 - 地形は土砂災害の決算報告 -

（千葉達朗：アジア航測株）

首都直下地震の姿，被害想定と防災・減災対策

（平田直：東京大学地震研究所）

富士火山・箱根火山の噴火による首都への影響

（高橋正樹：日本大学）

首都圏の地盤沈下と地下水環境の変遷

（徳永朋祥：東京大学）

東京湾岸域の三次元浅部地盤モデルと液状化危険度評価

（木村克己：防災科学技術研究所）

都市域における堆積時環境が与える地震応答への影響について

（竹村貴人：日本大学）

都市域における気象災害の発生機構と対策

（三上岳彦：首都大学東京名誉教授）

自治体による防災対策 - 世田谷区の取り組み -

（有馬秀人：世田谷区危機管理室災害対策課）

社会調査にみる都市部の若者の災害対策と意識

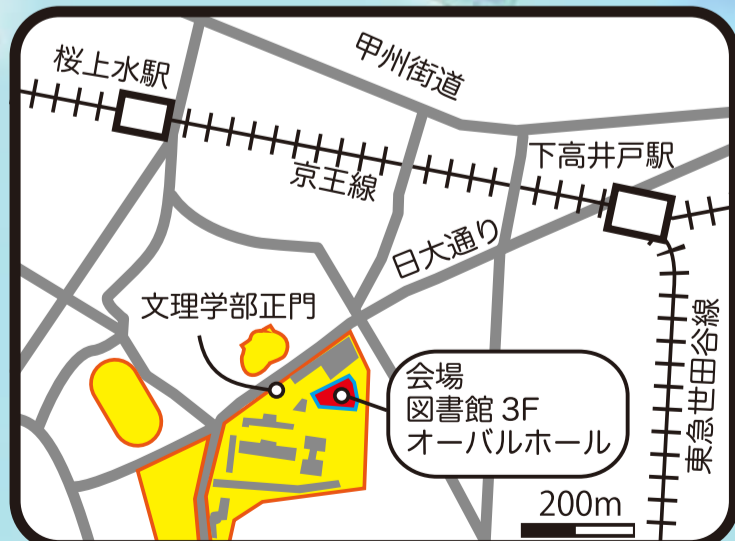
（中森広道：日本大学）

終了後 懇親会 [2016年東京・桜上水大会意見交換会]

会費 4,000円予定

ACCESS

京王線下高井戸駅または桜上水駅下車徒歩10分



キャンパス内には駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。